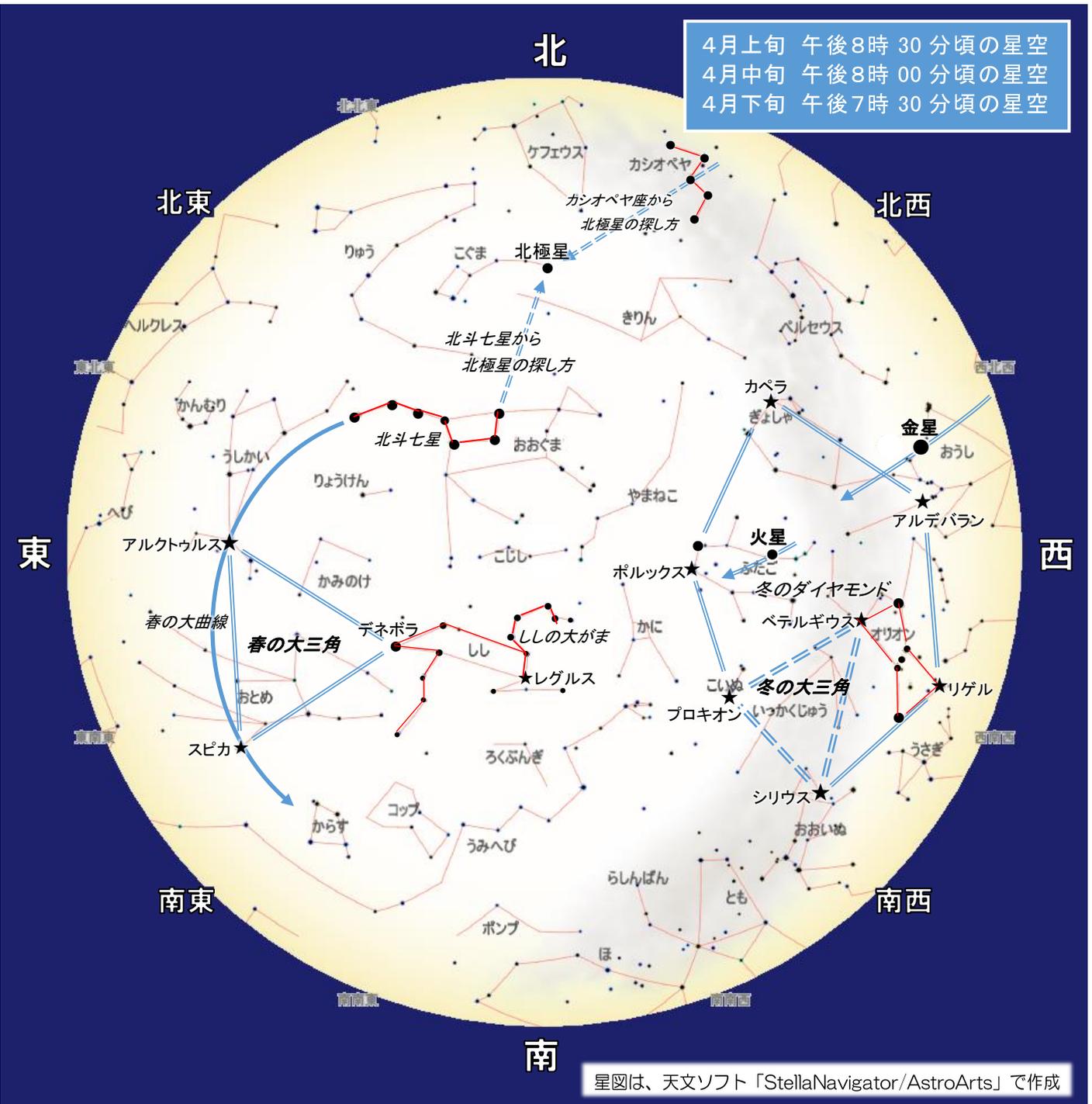


2023年 4月の星空案内



【4月の星空】

まだ夕空の西空には冬の星座が目立ちます。東からは春の星座がのぼってきます。北斗七星の柄の部分
 を延ばすと、うしかい座の1等星「アルクトゥルス」、その先には おとめ座の1等星「スピカ」が見つかり、これを『春の大曲線』といいます（さらに延ばすと「からす座」）。南の空高く、太陽の通り道に輝く
 しし座の1等星「レグルス」は、小さな王様という意味です。『春の大三角』は、しし座のしっぽの2等星
 「デネボラ」、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

【4月の惑星と月】

夕方の西空に「よいの明星」金星（-4.0→-4.1等）が目立ちます。11日に おうし座のプレアデス星
 団（すばる）と最接近し、23日には三日月と接近して見えます。火星（1.0 →1.3等）は昨年末の最接
 近からだいぶ経ちますが、しばらく1等星と同じくらいの明るさに見えます。土星（0.9等）は明け方の
 東の空で16日に細い月と並びます。（惑星についている矢印は「月はじめ⇒月末」の動き）